



プロジェクトが目指すもの

- ▶ エネルギーについてよく知り、自分の意見を持った上で、周りの意見を尊重しながら、エネルギーの将来についての「合意」を目指して話し合う。
 - 最終的には、**2050年の日本のエネルギー構造**について考え、話し合う。それを目指してワークショップを進める。
 - もし合意が取れなかったとしても、「合意」を目指すためには、さらにどのような情報が必要になるのかを話し合う。プロジェクトでは合意を目指す、全6回のワークショップで必ず取らなければならないということはない。

コミュニケーションのステップ

お互いに理解し、尊重する

- **お互いが異なることを知る**：お互いの普段の考え方や人柄などを知ることによって意見や判断、価値観が異なるものであることに気づく
- **共通点を知る**：お互いの中に共通点があることに気づく
- **異なることを受け入れる**：個人個人で判断や価値観が異なるものであるということを「そういうものだ」とあるがままに受け入れる

お互いが変わろうとして、コミュニケーションする

- **自分が変わろうとする**：自分と相手が歩み寄るために、自分が意見や判断、価値観を変えても良いと思う
- **相手が変わろうとしていることを知る**：自分と相手が歩み寄るために、相手が意見や判断、価値観を変えても良いと思っていることに気づく

話し合いのルール

1人の参加者として ▶▶▶

- 「私は」という一人称で話す

- 「私の意見」を言うことが大切です。「私たち市民は」「私たち学生は」という話し方はしないように意識しましょう。

- 誰かが話しているときには、その人が話していることをしっかり聞く

- 他の人の話を聞くことに専念し、自分が次に何を話そうかなどと考えないようにしましょう。

- 否定の言葉から話し始めないように気をつける

- 「いや、そうではなくて、・・・」ではなく、「なるほど、そのような考え方もあるのですね。私の意見はそれとは異なりますが、・・・」といった形です。

- 1人が1回に話すのは1分以内が目安

- 1人が話し過ぎない目安として、制限時間をセットしてみましょう。

- グループみんなで、ファシリテーターを助ける気持ちを持つ

- ファシリテーターはグループの話し合いをまわすために、献身的な働きをしてくれています。ファシリテーターには感謝を持って接するようにしましょう。



「エネルギーの将来について、
確たる知識に基づき、
価値観を越えて合意をつくる」

プロジェクト

〔第1回ワークショップ〕

エネルギーの将来について考えるには

本プロジェクトの
マスコットキャラクター
ぷよたまくん

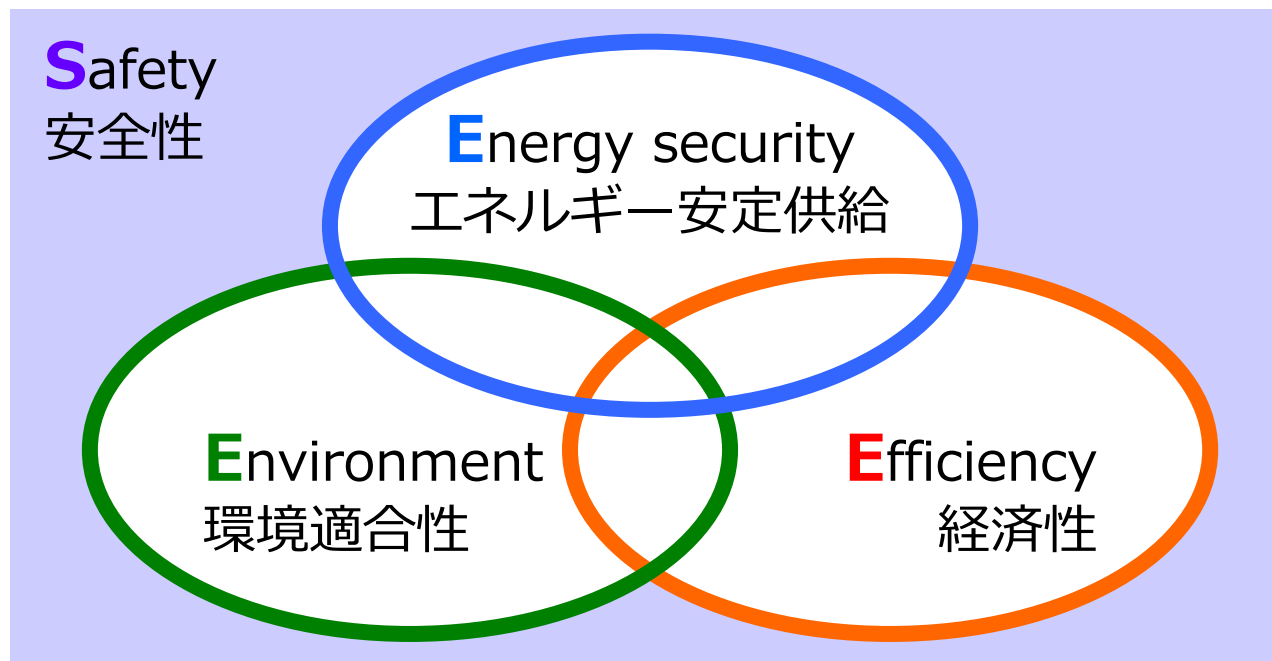


本事業は、経済産業資源エネルギー庁の支援を受けて実施しています。（事務局：（一財）日本立地センター）



エネルギーの将来を考える

- ▶ エネルギーの将来を考えるには、「3 E + S」が重要とはよく言われる。大前提のSに加え、3 Eのトリレンマを考えなければならない。



これで十分
…なのかな？





「エネルギーの将来について、
確たる知識に基づき、
価値観を越えて合意をつくる」

プロジェクト

〔ステップ1 …20分〕

エネルギーに関する自分の意見を 紹介しよう

- 重視する要素と、その理由は何か
- 重視しない要素と、その理由は何か
- 疑問に思ったことをお互いに質問しよう

今の素直な気持ちを
話してみよう。





「エネルギーの将来について、
確たる知識に基づき、
価値観を越えて合意をつくる」

プロジェクト

〔ステップ2 …20分〕

2050年の社会はどうなっている？

- 今のまま進んでいったらどうなる？
- 今のまま進まないとしたら、それはなぜ？ どうなる？
- なんでも自由に言ってみよう
- 疑問に思ったことをお互いに質問しよう

30年以上も先の未来…
ボクには想像もつかないなあ。





「エネルギーの将来について、
確たる知識に基づき、
価値観を越えて合意をつくる」

プロジェクト

〔ステップ3 …10分〕

2050年のエネルギーを考えるときに その他に考える点がないか考えよう

- エネルギーの現状を思ってみて気になる点は？
- 2050年の社会を考えてみて気になる点は？
- なんでも自由に言ってみよう
- 最後にグルーピングしてみよう



なんでもいいよ。
思いつき、大歓迎！



「エネルギーの将来について、
確たる知識に基づき、
価値観を越えて合意をつくる」

プロジェクト

〔ステップ4 …5分〕

これからの講義で 聞きたいポイントは何か

- 4回それぞれの講義に入れてほしいポイントは？
- 4人の専門家に質問してみたいことは？
- なんでも自由に言ってみよう

講師の先生には
ちゃんと伝えます。

